

**2009年4月1日から2016年6月30日までに
脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血で治療を受けた患者さんへ**

「くも膜下出血に関連した脳梁膨大部病変の検討」に関するデータ使用のお願い

脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血は非常に重篤な病気であり、当院でも多くの症例を治療しています。本研究はこの病気に関するものです。

脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血症例において、経過中にMRI拡散強調画像で脳梁膨大部に可逆性の高信号病変を認めることがあります。この病変の出現頻度や臨床所見との関連は不明であり、これらを明らかにすることは科学的に大きな意義があります。本研究は患者さんのデータを分析し、この病変について調べることで、今後の治療の発展に役立ててゆくものです。

具体的には、2009年4月1日から2016年6月30日までに、脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血で当院脳神経外科に入院し、治療を受けた患者さんが対象です。今回、診療で得られたデータをまとめ、学会に報告する予定であります。つきましては、診療で得られたデータを研究に使用する事にご理解とご協力を賜りたく存じます。

この研究は、通常の日常診療の結果を集めて分析するだけですので、患者さんに新たな負担が生じることはありません。また、患者さんの住所・氏名など個人が特定されるような情報が第三者に知られることはありません。なお、この研究は医師による自主研究で教員研究費のみを使用する研究です。脳神経外科学1の教室には、エーザイ（株）、大塚製薬（株）より奨学寄附金の受け入れ、大塚製薬（株）から報酬・謝礼・原稿料などを受け入れています。利益相反については、利益相反委員会に申告を行い、適正に管理します。なお、上記企業は、本研究とは直接関係はなく、結果の発表時にはこの事実関係を明示します。

情報の利用について

- ① 情報の利用目的及び利用方法：上記研究の資料とし分析します。
- ② 利用する情報の項目：診療録から得られる情報、MRI画像など
- ③ 利用する者の範囲：研究責任者：脳神経外科学1 講師 戸井宏行
研究分担者：脳神経外科学1 教授 宇野昌明
- ④ 情報の管理について責任を有する者の氏名：研究責任者（戸井宏行）
- ⑤ 情報の利用停止：研究対象者又はその代理人からの求めがあれば、利用を停止します。
- ⑥ ⑤の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法：下記連絡先へ連絡してください。
- ⑦ 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法：下記連絡先へ連絡して下さい。

もし、この研究の内容に関しての質問や研究の内容をもっと詳しく知りたい場合には、他の研究対象者の個人情報に支障がない範囲内で、計画書を閲覧することができますので、担当医師もしくは、下記担当者までご連絡ください。また、情報が当該研究に用いられることについて御了解いただけない場合には研究対象としませんので、下記連絡先まで御申し出ください。

〔問い合わせ先〕

研究責任者： 戸井 宏行（川崎医科大学附属病院 脳神経外科 医長）

電話番号 086-462-1111（代） FAX 086-462-1199 e-mail:ht11251974@yahoo.co.jp